

▼ 8月17日
松前界限はええとこぞなもし



「ふるさと歴史ロマン講座」は、東公民館で行われ、60人ほどが参加しました。
この日は県小中学校長会会長などを務めた山野芳幸さんが「えひめ松前界限はええとこぞなもし」と題して講演を行いました。山野さんは手作りの紙芝居を使いながら、松前城、おたたさんや句碑など、何度も取材した松前のパワースポットを紹介しました。これらをまとめた本が年内に発行される予定です。

▼ 8月6日
悪質商法から身を守ろう



本年度2回目となる「きたいよシニア大学講演」は、東公民館で行われ、70人ほどが参加しました。
この日は町の消費生活相談員が県出前講座講師と協力し、悪質商法被害未然防止のため講演を実施。参加者自身が寸劇に出演したり、クイズに頭を悩ませたり、主体的に悪質商法から身を守る術を学んでいました。最後には、全員で悪質商法の断り方を復唱。町から悪質商法を排除するため、意識を高めていました。

▼ 7月28日
中川原ひまわり祭り



中川原の恒例行事「ひまわりまつり」は、ひよこたん池公園周辺で開かれました。
残念ながら、この日はあいにくの雨模様。しかし、カッパを着たり傘を差したりして、雨にも負けず多くの方が会場を訪れました。訪れた人たちは、満開のひまわりを見ながら、ビアガーデンで休んだり、特設ステージのフラダンスを観賞したりして暑い夏の1日を満喫していました。

▼ 7月19日
地域を守るために



松前町防災センターで、「消防団震災用救助資機材配備式」が行われました。
式では、町内の消防団各23班に、震災時にがれきの中から救助するための、チェーンソーや簡易担架、スコップなどの資機材が配備されました。
南海トラフ巨大地震により、震度7の強い揺れが想定される松前町。いざというときのための備えが、地域に密着した消防団でも急がれています。

▼ 8月17日
作兵衛さんの盆踊り復活



東古泉コミュニティ広場で「盆踊り」が行われました。
おなじみのまさき音頭に続いて、披露されたのは義農作兵衛の盆踊り。参加者約130人が愛農歌の音に合わせて、鍬を持ったり、俵を担いだりする踊りを楽しみました。婦人部が十数年前のビデオを頼りに、復活させたこの盆踊り。文化部長の早瀬啓真さんは、「松前町内で踊られるような定番になっていけばうれしい」と話していました。

▼ 8月13日
ご先祖様おかえりなさい



永田地区のお盆の行事「百八灯」は、華蔵庵墓地で行われました。
夕闇せまる19時すぎ、子どもたちが百八つの灯明をともすと、たくさんの人々が墓参りに訪れます。中村麗子さんは、「毎年お墓参りに来ます。お父さんやお母さんを迎えにきました」と笑顔で話し、道を明るく照らす百八灯を頼りに、ご先祖様とそろって家路に就いていました。

▼ 8月4日
天使の歌声とオーケストラの共演



「愛媛県少年少女合唱連盟演奏会」は、文化センターで行われ、県内11の少年少女合唱団が参加しました。
演奏会の最初に登場したのは、松前ひまわり少年少女合唱団「オペラえひめ」のオーケストラ演奏にのせて、天使の歌声を披露しました。同合唱団の智葉未夢さん＝北黒田＝と金子仁美さん＝宗意原＝は、「オペラえひめさんとやるのは初めてだったので緊張したけど、とても楽しかったです」と興奮した様子で話していました。

▼ 7月23日
松前の「い～よ」を探して



テレビ愛媛「ふるさと絶賛バラエティい～よ」の取材班が、当町を訪れました。
松前中学校では、お笑い芸人「磁石」の2人がはんぎりを体験。初めて乗る桶に悪戦苦闘し、水の中に落ちてしまう場面も。身を持って松前の「い～よ」を体感していました。
その他にも、徳丸の村芝居などの取材が行われ、番組は8月10日に放送されました。